

(参考2)

公衆電話機能における事業法110条に規定する負担金に係る加算料の精算について

1. 公衆電話発信機能

平成18年度

< 適用料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{当年度の1月に適用される合算番号単価} \\ \times \quad \text{前年度末の公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \times 12 \\ \hline \text{前年度の公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

< 精算後料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{事業年度の各月に適用すべき合算番号単価} \\ \times \quad \text{事業年度の各月末の公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \quad \text{の合計} \\ \hline \text{事業年度の公衆電話発信機能に係る算定対象} \\ \text{需要実績 (年度の実績トラヒックの4分の1)} \end{array}$$

差額を精算

平成19年度以降

< 適用料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{前年度の1月に適用される合算番号単価} \\ \times \quad \text{前年度末の公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \times 12 \\ \hline \text{前年度の公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

< 精算後料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{事業年度の各月に適用すべき合算番号単価} \\ \times \quad \text{事業年度の各月末の公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \quad \text{の合計} \\ \hline \text{事業年度の公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

差額を精算

2. デジタル公衆電話発信機能

平成18年度

< 適用料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{当年度の1月に適用される合算番号単価} \\ \times \quad \text{前年度末のデジタル公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \times 12 \\ \hline \text{前年度のデジタル公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

< 精算後料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{事業年度の各月に適用すべき合算番号単価} \\ \times \quad \text{事業年度の各月末のデジタル公衆電話} \\ \quad \quad \text{発信機能に係る電気通信番号数} \quad \quad \quad \text{の合計} \\ \hline \text{事業年度のデジタル公衆電話発信機能に係る算定対象} \\ \text{需要実績 (年度の実績トラヒックの4分の1)} \end{array}$$

差額を精算

平成19年度以降

< 適用料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{前年度の1月に適用される合算番号単価} \\ \times \quad \text{前年度末のデジタル公衆電話発信機能} \\ \quad \quad \text{に係る電気通信番号数} \quad \quad \times 12 \\ \hline \text{前年度のデジタル公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

< 精算後料金額 >

$$\begin{array}{l} \text{事業年度の各月に適用すべき合算番号単価} \\ \times \quad \text{事業年度の各月末のデジタル公衆電話} \\ \quad \quad \text{発信機能に係る電気通信番号} \quad \quad \quad \text{の合計} \\ \hline \text{事業年度のデジタル公衆電話発信機能} \\ \text{に係る算定対象需要実績} \end{array}$$

差額を精算